

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

西暦 2021年 4月 1日作成 第 1.1 版

<p><b>研究課題名</b></p>	<p>腎尿管結石に対する経尿道的内視鏡手術におけるナビゲーションシステムの開発に向けた前向き・後ろ向き横断研究</p>
<p><b>研究の対象</b></p>	<p>2016年1月1日～2025年6月30日までの間に当院泌尿器科、横浜市立大学附属病院、大口東総合病院泌尿器科で腎・尿管結石に対して経尿道的碎石術を施行された方</p>
<p><b>研究目的 ・方法</b></p>	<p>本研究は腎臓・尿管結石に対する経尿道的碎石術の画像データを含む既存の診療録情報を用いた、多施設共同前向き・後ろ向き横断研究です。画像データを用いて腎杯、腎盂、尿管の3次元構造を構築し、内視鏡が撮影している画面が3次元構造のどこに位置するか特定することで、内視鏡が尿管に存在する場合は尿管の上流側を、内視鏡が腎臓内に存在する場合は上腎杯・中腎杯・下腎杯などの方向を矢印などでガイドするナビゲーションシステムを開発します。</p>
<p><b>研究期間</b></p>	<p>西暦 2020年 12月 25日 ～ 西暦 2026年 1月 31日</p>
<p><b>研究に用いる 試料・情報の 種類</b></p>	<p>情報：手術画像（経尿道的碎石術施行時のモニター画像）、CT画像（造影（ヨード系造影剤））</p>
<p><b>外部への 試料・情報の 提供</b></p>	<p>Simultaneous Localization and Mapping (SLAM) を用いて腎杯・腎盂などの3次元構造の構築と造影 CT 画像を用いて各腎杯・腎盂の3次元構造の構築を担当する東海大学情報理工学部、東海大学工学部機械工学科へデータを提供し解析をします。提供は、匿名化したうえで、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。</p>
<p><b>外部からの 試料・情報の 取得と保管</b></p>	<p>収集したデータは匿名化したうえで、横浜市立大学附属市民総合医療センター、横浜市立大学附属病院、大口東総合病院において本研究にかかわる研究者以外がアクセスできないよう施錠可能な施設でそれぞれ管理し、ネットワークから独立した PC 内でデータベース化します。共同研究機関から横浜市立大学附属市民総合医療センターへデータを提供する場合には、匿名化しパスワードをかけたうえで記録媒体にて提出します。</p>
<p><b>研究組織</b></p>	<p>「研究を実施する全ての共同研究機関」          主たる研究機関：横浜市立大学附属市民総合医療センター泌尿器科 石田 寛明          共同研究機関：横浜市立大学附属病院 中井川 昇、大口東総合病院 松崎 純一          「画像の解析を担当する協力機関」          東海大学工学部機械工学科 木村 啓志          東海大学情報理工学部コンピュータ応用工学科 竹村 憲太郎</p>

# 情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（多施設共同研究用）

本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先まで電話またはFAXでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

## 問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57

横浜市立大学附属市民総合医療センター泌尿器科 （研究責任者）石田 寛明

電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-1962

研究代表者：横浜市立大学附属市民総合医療センター泌尿器科 石田 寛明